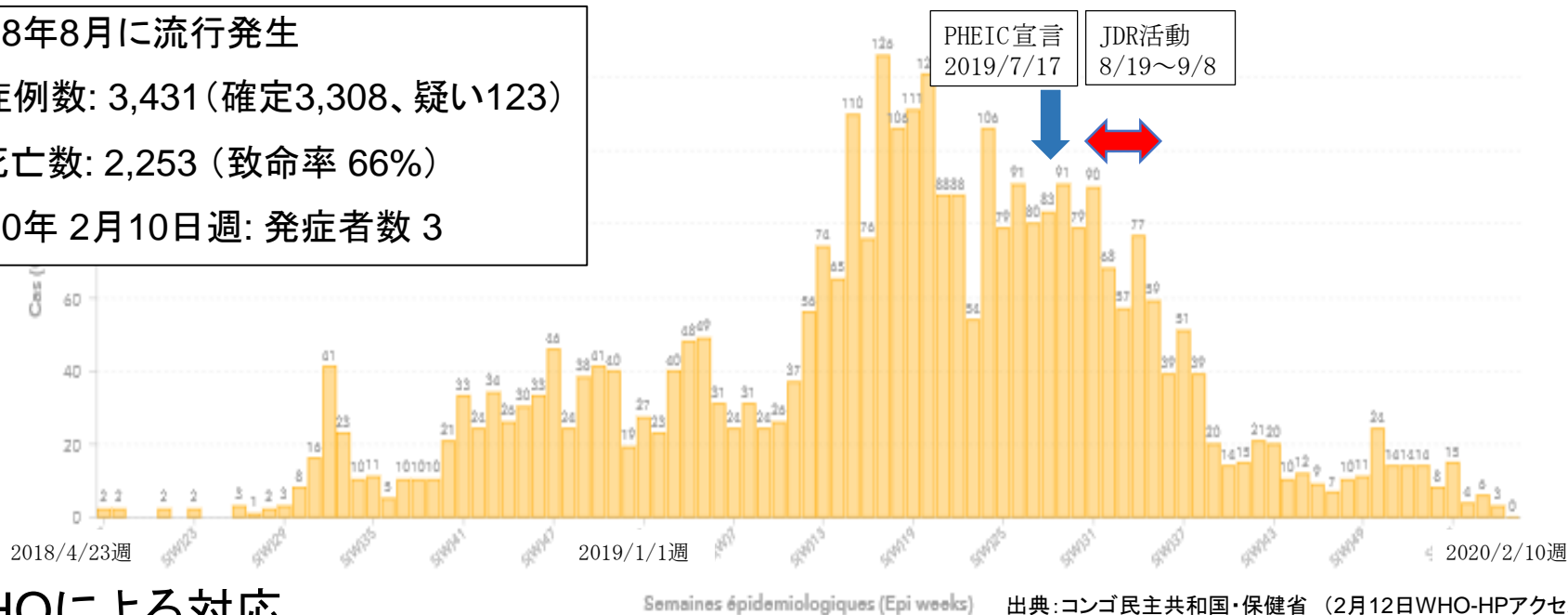


コンゴ民主共和国におけるエボラ出血熱の現状

資料2-1
2020年2月
外務省 国際協力局
緊急・人道支援課

●コンゴ民主共和国におけるエボラ出血熱(EVD)の流行曲線

- 2018年8月に流行発生
- 総症例数: 3,431 (確定3,308、疑い123)
総死亡数: 2,253 (致命率 66%)
- 2020年 2月10日週: 発症者数 3



●WHOによる対応

- 2018年にコンゴ民主共和国・北キブ州での発生以降, 2019年7月に北キブ州の大都市ゴマでの症例を確認。同年7月17日, WHOは国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態(PHEIC)を宣言。
- 2020年2月12日(ジュネーブ時間), コンゴ民主共和国におけるEVDに関する国際保健規則(IHR)緊急会合を招集し, 現状のレビュー評価を行い, PHEICを継続。